

- 評価対象指標のうち、目標を達成した指標は、**全体の52.3% (23 / 44指標)**となった。
- 目標未達成の指標は**47.7% (21 / 44指標)**であり、引き続き、達成率の向上を目指し取り組む必要がある。
- 目標値が設定されていないこと等により評価が「－」となっている12指標については、各年度の目標値の設定等により適切な進行管理及び評価の実施に努める。

評価の考え方

- ・令和7年度の実績値が出ていれば、目標値との比較により評価。
- ・令和7年度の実績値が出ていないものは、最新の実績値と目標値の比較により評価。
- ・最新の実績値に対して目標値が設定されていないものは、評価なし（－）とする。

評価方法

- | | |
|------------|------------------|
| 達成 | 実績値が目標値に達しているもの |
| 未達成 | 実績値が目標値に達していないもの |
| 評価なし | （－） |

I 環境回復の推進

1 放射性物質による環境汚染からの回復

評価なし（－）：1

2 原子力発電所及び周辺地域の安全・安心確保

※モニタリング指標のみ

II 美しい自然環境に包まれた持続可能な社会の実現

1 地球温暖化対策の推進（再掲指標を除く）

達成 : 8 評価なし（－）：1
未達成 : 9

2 循環型社会の形成

達成 : 4 評価なし（－）：2
未達成 : 5

3 自然共生社会の形成（再掲指標を除く）

達成 : 5 評価なし（－）：3
未達成 : 3

4 良好な生活環境の確保

達成 : 1 評価なし（－）：2
未達成 : 2

5 あらゆる主体の参画による環境保全・回復活動の推進（再掲指標を除く）

達成 : 5 評価なし（－）：3
未達成 : 2

環境基本計画(第5次) 通常指標の達成状況【項目別】

I 環境回復の推進

1 放射性物質による環境汚染からの回復

「達成」の指標: - / -

【評価なし（－）】

●仮置場の原状回復の進捗率（市町村除染地域） 最新値：99.4%（R7）目標値：100%（R12）

2 原子力発電所及び周辺地域の安全・安心確保

※モニタリング指標のみ

環境基本計画(第5次) 通常指標の達成状況【項目別】

Ⅱ 美しい自然環境に包まれた持続可能な社会の実現

1 地球温暖化対策の推進（再掲指標を除く）

【達成】

- 温室効果ガス排出量
最新値：▲ 26.8%(R5) 目標値：▲ 20%(R5)
- 再生可能エネルギーの導入量
最新値：59.7%(R6) 目標値：57.0%(R6)
- 県内消費電力と比較した再エネ導入量
最新値：109.4%(R6) 目標値：97%(R6)
- 「ふくしまゼロカーボン宣言」事業参加団体数（学校）
最新値：980団体(R7) 目標値：960団体(R7)
- 福島県地球温暖化防止活動推進員活動回数
最新値：965回(R7) 目標値：700回(R7)
- 再エネ・省エネ技術の導入による県管理施設（県有建築物・道路・都市公園）の年間CO₂排出削減量
最新値：3,704トン(R7) 目標値：2,154トン(R7)
- 流域治水の取組において、洪水時の住民避難を促す洪水浸水想定区域図の作成が必要な440河川の作成率
最新値：100%(R7) 目標値：50%(R7)
- 土砂災害から保全される人家戸数
最新値：16,379戸(R7) 目標値：16,305戸(R7)

【評価なし（－）】

- 業務用冷凍空調機器廃棄時のフロン類回収率
最新値：45%(R4) 目標値：75%(R12)

「達成」の指標：8／17（「－」の指標を除く）

【未達成】

- 「ふくしまゼロカーボン宣言」事業参加団体数（事業所）
最新値：5,016団体(R7) 目標値：6,000団体(R7)
- 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定済の市町村数（累計）
最新値：41市町村(R7) 目標値：59市町村(R7)
- 省エネ改修による既存住宅の年間CO₂排出削減量
最新値：399トン(R7) 目標値：600トン(R7)
- 森林整備面積
最新値：4,583ha (R6) 目標値：6,700ha (R6)
- 森林づくり意識醸成活動の参加者数
最新値：135,710人(R7) 目標値：161,500人(R7)
- 再生可能エネルギー・水素関連産業の工場立地件数（累計）
最新値：112件(R7) 目標値：113件(R7)
- 再生可能エネルギー・水素関連研究実施件数（累計）
最新値：1,025件(R7) 目標値：1,085件(R7)
- 定置式水素ステーションの基数
最新値：6基(R7) 目標値：12基(R7)
- 土砂災害警戒区域指定率
最新値：95.2%(R7) 目標値：96%(R7)

未達成の指標の課題分析

- 省エネ改修による既存住宅の年間CO₂排出削減量、●定置式水素ステーションの基数

●省エネ改修による既存住宅の年間CO₂排出削減量

令和7年度の県補助の応募は低調であった。原因は補助要件や補助額（率・上限額）が有利な国直接補助（経済対策）へ需要が偏っているためであり、目標達成は困難な状況にある。指標の在り方（定義）について見直しを行う必要がある。

●定置式水素ステーションの基数

定置式水素ステーションの基数については、水素ステーションの整備・運営費用、燃料電池自動車の価格が高いことなどから、全国的に水素ステーションの新規整備が進んでいない。目標達成に向けて、水素ステーション事業者への支援を継続していく。

環境基本計画(第5次) 通常指標の達成状況【項目別】

Ⅱ 美しい自然環境に包まれた持続可能な社会の実現

2 循環型社会の形成

【達成】

- 一般廃棄物の排出量（1人1日当たり）
最新値：953g/人・日(R6) 目標値：955g/人・日(R6)
- 産業廃棄物の排出量
最新値：6,747千トン(R6) 目標値：7,700千トン(R6)
- 産業廃棄物の再生利用率
最新値：52%(R6) 目標値：52%(R6)
- うつくしま、エコ・リサイクル認定数（累計）
最新値：134製品(R7) 目標値：125製品(R7)

【評価なし（－）】

- 一般廃棄物の最終処分量（1日当たり）
最新値：171トン/日(R6) 目標値：150トン/日(R8)
- 産業廃棄物の最終処分率
最新値：10%(R6) 目標値：6%(R8)

「達成」の指標：4／9（「－」の指標を除く）

【未達成】

- 一般廃棄物のリサイクル率
最新値：13.5%(R6) 目標値：15.1%(R6)
- 市町村の災害廃棄物処理計画策定率
最新値：93.2%(R7) 目標値：100%(R7)
- 食べ残しゼロ協力店・事業所数（累計）
最新値：905店・事業所(R7) 目標値：1,100店・事業所(R7)
- 有機農業等の取組面積
最新値：2,418ha(R7) 目標値：4,440ha(R7)
- 第三者認証GAP等を取得した経営体数
最新値：787経営体(R7) 目標値：1,250経営体(R7)

未達成の指標の課題分析

●有機農業等の取組面積、●第三者認証GAP等を取得した経営体数

●有機農業等の取組面積

有機農業等の取組面積については、高齢化等による県全体の就農者、作付面積の減少や、原発事故による風評等を理由に中断するケースもあることから、有機農業等の作付面積は減少傾向にあり、令和7年度の実績値は前年度実績（2,650ha）から減少した。引き続き、有機JAS認証取得支援、施設・機械の導入支援、新技術の開発・普及等を行うとともに、有機農業等の生産拡大や新規取組の支援、新たな販路確保を図る。

●第三者認証GAP等を取得した経営体数

主要な経営体の認証取得が一段落したこと、取引拡大など認証取得のメリットが少ないこと、認証取得に手間や費用がかかることなどの理由で認証経営体数が伸び悩んでいる。JA生産部会や農業法人等を重点推進対象としながら、普及指導員及びGAP推進員等によるGAPの認証取得・実践・活用・定着への支援を強化する。さらに、消費者や流通業者に対して情報発信を強化するとともに、マッチングモデルの創出を図る。

環境基本計画(第5次) 通常指標の達成状況【項目別】

Ⅱ 美しい自然環境に包まれた持続可能な社会の実現

3 自然共生社会の形成(再掲指標を除く)

【達成】

- 地域共同活動による農地・農業用水等の保全管理面積の割合
最新値：53%(R7) 目標値：53%(R7)
- 一人当たりの都市公園面積
最新値：15.3㎡/人(R6) 目標値：14.5㎡/人(R6)
- イノシシ、シカの年間捕獲頭数(シカ)
最新値：2,553頭(R7) 目標値：1,400頭以上最大限(R7)
- 野生動植物保護サポーター登録数
最新値：173人(R7) 目標値：168人(R7)
- 野生鳥獣による農作物の被害金額
最新値：150,630千円(R6) 目標値：161,395千円(R6)

【評価なし(ー)】

- 裏磐梯湖沼群のCOD値
【桧原湖】最新値：2.2mg/L(R7) 目標値：2.0mg/L(R12)
【毘沙門沼】最新値：1.7mg/L(R7) 目標値：1.0mg/L(R12)など

【未達成】

- 猪苗代湖のCOD値
最新値：1.5mg/L(R7) 目標値：1.3mg/L(R7)
- イノシシ、シカの年間捕獲頭数(イノシシ)
最新値：17,729頭(R7) 目標値：25,000頭以上最大限(R7)
- 自然公園の利用者数
最新値：10,161千人(R6) 目標値：10,640千人(R6)
- 猪苗代湖及び裏磐梯湖沼流域の污水处理人口普及率
最新値：88.4%(R7) 目標値：97.4%(R12)
- 猪苗代湖の水生植物回収量
最新値：443㎡(R7) 目標値：3,500㎡(R12)

未達成の指標の課題分析

- イノシシ、シカの年間捕獲頭数(イノシシ)

イノシシの年間捕獲頭数については、豚熱の影響などによる個体数減少のため目標値に達しなかった。イノシシの捕獲頭数は年次変動する傾向があり、今後、個体数が大幅に増加する可能性もあるため、状況を注視し、引き続き最大限の捕獲に取り組む。

Ⅱ 美しい自然環境に包まれた持続可能な社会の実現

4 良好な生活環境の確保

「達成」の指標:1/3(「一」の指標を除く)

【達成】

- 県内工業製品出荷額1億円あたりの化学物質排出量
最新値：40kg(R5) 目標値：64kg(R5)

【評価なし(一)】

- 工場・事業場の排出・排水基準適合率
【排水基準適合率(有害物質)】
最新値：99.2%(R7) 目標値：100%(R12) など
- 工場・事業場のダイオキシン類排出基準適合率
最新値：100%(R7) 目標値：100%(R12)

【未達成】

- 汚水処理人口普及率
最新値：88.4%(R7) 目標値：93.3%(R7)
- 工場・事業場等におけるリスクコミュニケーションの実施事業場数
最新値：244事業場(R7) 目標値：330事業場(R7)

未達成の指標の課題分析

●工場・事業場等におけるリスクコミュニケーションの実施事業場数

工場・事業場等におけるリスクコミュニケーションの実施事業場数については、新型コロナウイルス感染症による事業活動の縮小等の影響により一度落ち込んだが、近年は増加傾向にある。引き続き企業向けセミナーでリスクコミュニケーションの重要性について周知するとともに、参加企業によるリスクコミュニケーション事例の紹介を通じて優良事例の共有を図り、リスクコミュニケーションの普及啓発に努める。

環境基本計画(第5次) 通常指標の達成状況【項目別】

Ⅱ 美しい自然環境に包まれた持続可能な社会の実現

5 あらゆる主体の参画による環境保全・回復活動の推進

【達成】

- 環境教育副読本を用いて学習を行った県内小学校の割合
最新値：78%(R7) 目標値：55%(R7)
- 環境アドバイザー等派遣事業受講者数(累計)
最新値：35,239人(R7) 目標値：35,200人(R7)
- せせらぎスクール参加団体数、延べ参加者数(団体数)
最新値：47団体(R7) 目標値：47団体(R7)
- 市街地等における無電柱化整備率
最新値：52%(R7) 目標値：51%(R7)
- 福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」利用者数
最新値：96,781人(R7) 目標値：80,000人(R7)

「達成」の指標：5／7(「ー」の指標を除く)

【未達成】

- 自然体験学習等参加者数
最新値：1,651人(R7) 目標値：2,238人(R7)
- せせらぎスクール参加団体数、延べ参加者数(参加者数)
最新値：1,910人(R7) 目標値：2,070人(R7)

【評価なし(ー)】

- 猪苗代湖における水草回収等ボランティア参加者数
最新値：2,596人(R7) 目標値：12,000人(R12)
- 市町村景観計画策定団体数
最新値：6市町村(R7) 目標値：10市町村(R12)
- 「コミュタン福島」を活用して環境学習を行った県内小学校の割合
最新値：56.2%(R7) 目標値：100%(R12)

未達成の指標の課題分析

●自然体験学習等参加者数

自然体験学習等参加者数については、裏磐梯ビジターセンターにおいて令和7年4月のリニューアルオープンに伴い、体験プログラムの見直しを行ったことで前年度から実績値が回復したものの、目標値までは達していない状況である。新たに開始したVRゴーグル・出張イベントや再開したスノーシュー体験等の周知に努め、参加者数の増加につなげていく。